



## 2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年8月7日

上場会社名 シキボウ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3109 URL <http://www.shikibo.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 清原 幹夫  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 上席執行役員 (氏名) 竹田 広明 (TEL) 06-6268-5411  
 コーポレート部門長  
 四半期報告書提出予定日 2020年8月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	8,062	△15.1	196	△57.1	76	△79.8	57	△79.4
2020年3月期第1四半期	9,499	△5.9	457	△21.6	375	△26.7	277	△14.9

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 △4百万円(—%) 2020年3月期第1四半期 232百万円(△6.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	5.31	—
2020年3月期第1四半期	25.75	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	85,206	32,093	36.3
2020年3月期	85,128	32,549	36.8

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 30,900百万円 2020年3月期 31,305百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	—	—

※2021年3月期の配当予想につきましては、現時点では未定としております。

## 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	15,500	△18.2	100	△89.4	△100	—	0	△100.0	0.00
通期	31,300	△17.7	300	△84.7	0	△100.0	0	△100.0	0.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2021年3月期1Q	11,810,829株	2020年3月期	11,810,829株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2021年3月期1Q	1,024,714株	2020年3月期	1,024,587株
------------	------------	----------	------------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2021年3月期1Q	10,786,177株	2020年3月期1Q	10,783,609株
------------	-------------	------------	-------------

(注) 当社は株式報酬制度（役員向け株式給付信託）を導入しており、株主資本において自己株式として計上されている役員向け株式給付信託に残存する自社の株式は、1株当たり四半期純利益金額の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
3. 参考情報	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、緊急事態宣言が発出されるなど、経済活動が停滞いたしました。これに伴い、企業収益が急速に低下し、雇用情勢の悪化等厳しい状況が続いております。また、世界全域にわたり経済活動が制限されるなど、グローバルな経済活動にも大きな影響を与えることとなりました。

当社グループにおいても、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による消費マインドの低下および個人消費の低迷、インバウンド需要の減少等、厳しい事業環境となりました。このような状況の中で当社グループは、感染拡大防止対策に万全を期す一方で、固定費の削減、生産体制の見直し等の対策を実施し、事業活動を行ってまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は80億62百万円（前年同期比15.1%減）、営業利益は1億96百万円（同57.1%減）、経常利益は76百万円（同79.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は57百万円（同79.4%減）となりました。

#### (繊維セグメント)

繊維セグメントでは、各事業分野において、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、受注が減少し苦戦いたしました。

原糸販売事業は、国内市場では中高級衣料用の各種産地向け販売、また、海外市場では堅調であったベトナム、インドネシア生産糸の販売も苦戦いたしました。

輸出衣料事業は、中東市場においても、現地での感染拡大の影響を受けており、先行きは不透明となっております。

ユニフォーム事業は、ユニフォーム生地販売が備蓄アパレルでの在庫調整の影響や企業制服更新の延期等により、また、ニット製品販売は店頭休業の影響により苦戦いたしました。

生活資材事業は、リビング分野・リネン資材分野において、百貨店・ホテル等の休業の影響により苦戦いたしました。

一方、衛生加工関連商材については、各事業分野で取引に向けての問い合わせが多数あり、積極的な販売強化を図ってまいります。また、同商材の販売を通じ衛生環境の改善等により、社会に寄与できればと考えております。

以上の結果、繊維セグメント全体としての売上高は42億13百万円（前年同期比16.8%減）となり、営業損失は1億45百万円（前年同期は1億25百万円の営業損失）となりました。

#### (産業材セグメント)

産業資材部門でも、各事業分野において、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、受注が減少する等の影響が出ております。

製紙用ドライヤーカンバス事業は、紙生産量の減少に伴い、カンバス需要も低調に推移し減収となりました。フィルター事業では、自動車関連業種を中心に、幅広い業種で需要が低迷し減収となりましたが、製造コスト改善等の施策が寄与し微増益となりました。また、空気清浄機分野では、機器販売および保守点検業務とも計画の中止、延期が相次ぎ減収減益となりました。

機能材料部門では、化成品事業は化学品分野の中国向け輸出が、昨年度の米中貿易摩擦による落ち込みから、回復基調にあり増収となりました。また、食品分野の増粘多糖類等が堅調に推移した結果、全体では増収となりました。複合材料事業は、電力分野向け複合材料部材が若干増加いたしました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、航空機用途の受託量が減少となったため、全体では減収となりました。

以上の結果、産業材セグメント全体としての売上高は27億60百万円（前年同期比8.0%減）となり、営業利益は1億42百万円（同34.3%減）となりました。

#### (不動産・サービスセグメント)

不動産賃貸事業は堅調に推移いたしましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、リネンサプライ事業、ゴルフ場事業、物流事業とも非常に苦戦いたしました。

以上の結果、不動産・サービスセグメント全体としての売上高は12億30百万円（前年同期比23.0%減）となり、営業利益は3億52百万円（同32.6%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は852億6百万円となり、前年度末に比べ77百万円の増加となりました。これは主に、売上債権が減少したものの、有形固定資産の増加によるものです。

負債は、531億12百万円となり、前年度末に比べ5億32百万円の増加となりました。これは主に、仕入債務が減少したものの、有利子負債の増加によるものであります。

純資産は、320億93百万円となり、前年度末に比べ4億55百万円の減少となりました。これは主に、配当金の支払に伴う利益剰余金の減少によるものであります。

これらの結果、自己資本比率は前年度末に比べ0.5ポイント減少し、36.3%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後のわが国経済の見通しについては、いまだ新型コロナウイルス感染症の拡大が続いており、先行きは非常に不透明な状況にあります。

当社グループでは、2018年度を初年度とする中期3カ年計画を遂行中であり、本年が中期経営計画の最終年度に当たります。しかし、今年初頭からの急激な事業環境の変化を鑑み、現中期経営計画の基本方針は継続しつつ、最終年度の業績目標については向う2年間、凍結することといたします。代わって、当面は新型コロナウイルス感染症による経済的影響を最小限に食い止め、急激な環境の変化への対応、コロナ禍からの復活・変身を成し遂げるために、そのステージに応じた施策を実施すべく「緊急2カ年計画」を策定することといたしました。本計画はまとめ次第、改めて公表いたします。

なお、業績予想の詳細につきましては、本日公表しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,520	6,620
受取手形及び売掛金	7,500	6,399
電子記録債権	1,398	1,451
商品及び製品	5,505	5,880
仕掛品	1,550	1,553
原材料及び貯蔵品	1,139	1,091
その他	740	777
貸倒引当金	△13	△12
流動資産合計	24,341	23,763
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	43,735	43,809
減価償却累計額及び減損損失累計額	△31,464	△31,665
建物及び構築物(純額)	12,270	12,143
機械装置及び運搬具	26,711	27,177
減価償却累計額及び減損損失累計額	△24,702	△24,798
機械装置及び運搬具(純額)	2,008	2,379
工具、器具及び備品	1,592	1,599
減価償却累計額及び減損損失累計額	△1,401	△1,415
工具、器具及び備品(純額)	191	184
土地	40,749	40,749
リース資産	2,306	2,263
減価償却累計額	△1,126	△1,141
リース資産(純額)	1,179	1,122
建設仮勘定	1,240	1,699
有形固定資産合計	57,640	58,278
無形固定資産	275	270
投資その他の資産		
投資有価証券	764	778
繰延税金資産	1,740	1,717
その他	502	529
貸倒引当金	△134	△132
投資その他の資産合計	2,872	2,892
固定資産合計	60,787	61,442
資産合計	85,128	85,206

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,086	3,480
短期借入金	10,172	10,482
1年内償還予定の社債	1,220	1,140
未払費用	558	532
未払法人税等	62	8
未払消費税等	125	112
賞与引当金	602	331
関係会社整理損失引当金	50	51
その他	1,259	1,179
流動負債合計	18,138	17,320
固定負債		
社債	3,310	3,590
長期借入金	12,257	13,469
リース債務	1,022	972
繰延税金負債	175	174
再評価に係る繰延税金負債	6,449	6,449
退職給付に係る負債	6,600	6,598
役員退職慰労引当金	66	60
修繕引当金	36	30
その他の引当金	262	183
長期預り敷金保証金	4,150	4,149
その他	109	112
固定負債合計	34,441	35,791
負債合計	52,579	53,112
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	11,336	11,336
資本剰余金	974	974
利益剰余金	8,479	8,101
自己株式	△1,237	△1,237
株主資本合計	19,552	19,173
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6	17
繰延ヘッジ損益	△13	△15
土地再評価差額金	13,675	13,675
為替換算調整勘定	△1,376	△1,430
退職給付に係る調整累計額	△538	△520
その他の包括利益累計額合計	11,753	11,726
非支配株主持分	1,243	1,192
純資産合計	32,549	32,093
負債純資産合計	85,128	85,206

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	9,499	8,062
売上原価	7,586	6,522
売上総利益	1,912	1,539
販売費及び一般管理費	1,454	1,343
営業利益	457	196
営業外収益		
受取利息	1	2
受取配当金	11	11
補助金収入	—	19
雑収入	25	19
営業外収益合計	38	52
営業外費用		
支払利息	58	60
新型コロナウイルス感染症による損失	—	70
雑支出	61	41
営業外費用合計	119	172
経常利益	375	76
特別利益		
固定資産売却益	6	0
受取保険金	5	—
特別利益合計	12	0
特別損失		
固定資産除却損	1	1
固定資産売却損	1	—
関係会社整理損失引当金繰入額	—	2
災害損失	26	—
特別損失合計	29	4
税金等調整前四半期純利益	358	72
法人税、住民税及び事業税	33	23
法人税等調整額	54	17
法人税等合計	87	41
四半期純利益	270	31
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△7	△25
親会社株主に帰属する四半期純利益	277	57



四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	270	31
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△50	11
繰延ヘッジ損益	△12	△2
為替換算調整勘定	7	△63
退職給付に係る調整額	12	18
持分法適用会社に対する持分相当額	4	—
その他の包括利益合計	△38	△35
四半期包括利益	232	△4
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	235	31
非支配株主に係る四半期包括利益	△3	△35

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	繊維	産業材	不動産・ サービス	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,055	3,000	1,443	9,499	—	9,499
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6	—	155	162	△162	—
計	5,061	3,000	1,599	9,661	△162	9,499
セグメント利益又は損失(△)	△125	216	522	614	△156	457

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△156百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であり  
ます。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	繊維	産業材	不動産・ サービス	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,208	2,760	1,093	8,062	—	8,062
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5	—	137	142	△142	—
計	4,213	2,760	1,230	8,205	△142	8,062
セグメント利益又は損失(△)	△145	142	352	349	△152	196

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△152百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であり  
ます。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## 3. 参考情報

## (1) 2021年3月期の連結業績予想

(2021年3月期第2四半期累計期間)

(単位：百万円)

	報告セグメント			消去及び全社	合計
	繊維	産業材	不動産・サービス		
売上高	8,000	5,200	2,600	△300	15,500
営業利益	△450	100	750	△300	100
経常利益					△100
親会社株主に 帰属する 当期純利益					0

(2021年3月期)

(単位：百万円)

	報告セグメント			消去及び全社	合計
	繊維	産業材	不動産・サービス		
売上高	16,000	10,700	5,200	△600	31,300
営業利益	△700	100	1,500	△600	300
経常利益					0
親会社株主に 帰属する 当期純利益					0